

郷土の歴史と文化、民俗を知る必携の一冊

# 庄内地方の百科事典

大泉叢誌は、江戸時代後期に庄内藩士阪尾宗吾・万年・清風父子三代にわたって編纂された「江戸時代の庄内百科叢書」ともいえる古書の集大成であり、実に139巻に及んでいます。

第4集には、江戸時代前半期の日記類二十種などをまとめて収録しました。後に編纂された「酒井家世紀」や「編年私記」などの基になった記録でもあり、御用日記が殆ど残っていない庄内藩の「年代記」的な性質を備えた資料集となっています。



■収録文献：後藤筆記、大日記呼出、旧新雑録、古日記抜書、伝聞集、閑稿記抄、小島氏手控抄、遊佐蔵にある古升、朝月山樞問教書上、古手控(酒田鶴渡川原御足輕某之手控)、古日記(松平武右衛門家臣何某手記)、犬塚氏手記 江戸聞書抄、吉宗公御代江戸聞書、元禄より享保迄之手控抄、享保年中御叱書十五通写、犬塚右大夫日記、元禄より享保迄江戸・庄内手控、元禄より宝永迄控帳抄、大山村酒肆の翁が手記、古江戸手控帳、神農縁記、享保控、享保五年庄内二郡人数書、御足輕嶺田氏代々日記、御給人吉日記、御組外石山英治所蔵古書もの、相良助右衛門家由来、荻原内匠が事、堀彦大夫が事、日夏無一郎が事、長谷川権左衛門が事、高力但馬が事、加藤大式が事、水野内蔵助が事、西御門脇、松原となる事、御家御十一代御正統血脈絶えざる事、達三様・長門殿の御若名の事、材木の中から仏像出現の事、小寺信正が事、御当家領地転移と御在城年数の事

■附録：年代記の索引(年代順)

山形県  
指定文化財

# 大泉叢誌

たいせんそうし

第4集 巻23、巻24、巻49、巻79、巻104、  
巻105、巻106、巻107、巻122、巻123

江戸時代の出来事を年代順にまとめた記録や日記

限定 150 部  
平成29年6月発売

お問い合わせ

公益財団法人 致道博物館

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町 10-18

TEL 0235-22-1199

FAX 0235-22-3531

E-mail chido@axel.ocn.ne.jp

公益財団法人 致道博物館 編集・発行  
A5判上製本/外函付/口絵・解題・附録 317頁

《※キリトリ》

申込書

『大泉叢誌 巻23、巻24、巻49、巻79、巻104  
巻105、巻106、巻107、巻122、巻123』 第4集

定価 3,000 円  
(消費税込・送料別)

部 申し込みます

ご住所 (マンション等にお住まいの方はマンション名もご記入ください)

〒□□□□-□□□□

フリガナ  
お名前

お電話

受取方法

[いずれかお選び下さい]

来館受取

郵便発送 (送料お客様負担  
1冊 360円)